

Kenren No.71 カノン

神奈川県
合唱連盟
機関・情報誌

2010年秋号

発行：2010.10.7

第53回神奈川県合唱コンクール 開催報告

去る9月4日・5日の2日間に亘り、第53回神奈川県合唱コンクールが神奈川県立音楽堂にて開催されました。残暑の厳しい中、中学校部門13団体、高等学校部門16団体、一般部門15団体、シード5団体の合計53団体(対前回比5団体増)の参加を得ての開催となりました。今大会は中学校・高等学校からの出演が増えた半面、大学部門の出演が無いという非常に寂しい大会となりました。大学合唱団の皆さん、来年こそは是非とも出演をお願いします。審査結果は以下の通りです。

(各賞の掲載は出演順)

【神奈川県知事賞・全日本合唱連盟理事長賞(グランプリ)】
・日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

■中学校部門(同声の部)

【金賞】

- ・厚木市立南毛利中学校・厚木市立藤塚中学校合唱部(代表)
- ・海老名市立大谷中学校合唱部
- ・日本女子大学附属中学校コーラスクラブ
- ・清泉女学院中学音楽部(代表)

【銀賞】

- ・横浜市立豊田中学校合唱部
- ・伊勢原市立成瀬中学校コーラス部

【銅賞】

- ・海老名市立海西中学校
- ・川崎市立菅中学校音楽部

■中学校部門(混声の部)

【金賞】

- ・茅ヶ崎市立松林中学校合唱部(代表)
- ・横浜市立緑が丘中学校合唱部(代表)

【銀賞】

- ・川崎市立白鳥中学校白鳥合唱団
- ・厚木市立東名中学校

【銅賞】

- ・厚木市立荻野中学校

■高等学校部門(Aグループ)

【金賞】

- ・桐蔭学園女子コーラス部(代表)
- ・県立弥栄高校合唱団(代表)
- ・日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ(代表)

【銀賞】

- ・神奈川学園中学・高等学校女声合唱団
- ・県立生田高校グリークラブ
- ・慶應義塾湘南藤沢中・高等部合唱部

【銅賞】

- ・県立伊志田高校合唱部
- ・相洋高校コーラス部

【奨励賞】

- ・県立秦野総合高等学校合唱部
- ・桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブ

- ・県立大和高等学校コーラス部
- ・県立大船高校合唱部
- ・県立厚木商業高等学校音楽部

■高等学校部門(Bグループ)

【金賞】

- ・県立多摩高校合唱部(代表)
- ・北鎌倉女子学園コーラス部(代表)

【銀賞】

- ・横浜英和女学院中学高等学校音楽部

■一般部門(Aグループ)

【金賞】

- ・かながわフリーダム・シンガーズ(代表)
- ・ユース松林(代表)

【銀賞】

- ・TAMA STAR SINGERS
- ・アンサンブル藤沢
- ・合唱団たまと

【銅賞】

- ・アンサンブル・ピノ
- ・湘南コーロ・ステラ

■一般部門(Bグループ)

【金賞】

- ・小田原少年少女合唱隊(代表)
- ・緑フラウエンコール(代表)

【銀賞】

- ・コール・キリエ

【銅賞】

- ・横浜ルミナス・コール

■シード(前年度全国大会出場により)

- ・清泉女学院高校音楽部
- ・マルベリー・クワイア
- ・マルベリー・チェンバークワイア
- ・富士通川崎合唱団
- ・湘南はまゆう



受賞した各団体代表と鈴木実行委員長

なお、来年のコンクールの日程は、平成23年8月24日(水)が中学校・高等学校部門、平成23年9月4日(日)が大学・職場・一般部門と分離開催となりますのでご注意ください。(実行委員長：鈴木 行)

第53回 神奈川県合唱祭 ～ 180団体参加で開催～

平成22年6月12日(土)、13日(日)、26日(土)、27日(日)の4日間にわたって180団体・4,236名が県立音楽堂に集い、まさに神奈川県の合唱の祭典が繰り広げられました。

県合唱祭では、出演団体による演奏はもちろんのこと、各日に設けられたイベントがこの祭典を盛り上げています。

ここでは今回開催されたイベントを中心にご報告します。



180団体が出演

<コスチュームファッションショー>

恒例となりましたコスチュームファッションショーが開催されました。さっきまで舞台上で歌っていた合唱団員達が、華やかな衣装に身を包みファッションモデルとして舞台上に登場！今年は男性の衣装も素敵でした。来年は是非あなたもファッションモデルに！（希望者は県連事務局に）

<作曲家コーナー>

今年は信長貴富作品を集めてのコーナーを開催しました。横浜国立大学混声合唱団、ユース松林、横浜YMCA混声合唱団の3団体が信長作品を演奏し、続いて信長先生からのコメントをいただきました。

会場が、まさに信長ワールドになり、とてもなごやかな雰囲気のコーナーとなりました。



信長貴富コーナー

<ジュニア合同合唱>

県内のジュニア合唱団が集まってすてきな演奏を聞かせてくれました。曲は「そよ風は友だち」「朝の光に」「願い」～大切な日に～の3曲で、いずれもジュニア合唱祭でも歌い継がれている団員も大好きな曲ばかりでした。また、この演奏の後に連盟歌「朝の光に」を会場全員で歌いましたが、当日の講師で、この曲の作曲家である信長貴富先生が飛び入りで合唱に加わっていただくというサプライズがあり、会場は大いに盛り上がりしました。



信長先生が飛び入りで「朝の光に」合唱

<パフォーマンスコーナー>

県立多摩高校合唱部と県立秦野総合高等学校合唱部の2団体がパフォーマンスコーナーに出演しました。高校生の元気いっぱいのステージに会場も引き込まれて行きました。



パフォーマンスコーナーでの演奏

＜中学・高校合同合唱＞

県内の中学生、高校生の合同ステージでは、伊集院俊光先生の指揮により「Shenandoah」(James Erb編曲)が演奏されました。

この曲は昨年12月のユースコーラルフェストでも取り上げた曲で、難曲でしたが、堂々と素晴らしい演奏が披露されました。



中学・高校合同合唱の様子

＜公開レッスン＞

松村努先生による公開レッスンが横浜ルミナス・コールをモデル団体にして開催されました。突然少人数に分けたり、指揮者なしで演奏してみたりと実際の練習の場面を想定した指導が行われ、会場からも参考になったとの意見が多く聞かれました。

4日間の長丁場でしたが、無事に運営することができました。これも運営を手助けしていただきましたボランティアスタッフの皆さまのご協力のおかげと思っています。この場を借りて御礼申しあげますとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

★新連載★



副理事長のつづやき



【第1回】 怒らず 怒鳴らず 叱らず



平井 保

カノンが送る
新連載第一弾！
県連の重鎮が
本音を語ります

今回初めての『つづやき』で、何をお話したら良いかと迷いましたが、思いの一端を正直に述べてみようと思います。

最近つくづく、言葉の持つ重さを感じます。言葉の選び方、使い方やその時の表情によって人は喜んだり悲しんだり、時にその人生が大きく変わってしまうような影響を与えたりするのですから。

子供達への合唱指導では、なおさらそのことが重要であることは言うまでもありません。合唱練習に休まずに通う。何年も歌い続ける。これはただ“合唱が好きだ”というだけではない理由があるはずですね。毎回の練習が“楽しい”ということ、自分にとって何か大切なものがそこにあるという実感があるからでしょう。もちろん、それは音楽的なレベルの向上や仲間同士の友情、そして遊びにあるかも知れません。でも一番大切なことは、“合唱をしていることが楽しい”ということなのだと思います。そして楽しい練習になるかならないかは、指導者次第ということですね。練習には厳しい訓練というイメージがつきものですが、楽しく練習するということが出来ればきっと、子供達は喜んで練習場に通ってくれるでしょう。

合唱練習で何をするかといえば、楽譜通りの音の高さ、長さ、拍子、表記されている最低の表現を確実に体現できること。それも無理の無い美しい声で。これを出来るようにする、ということです。これが練習の目的ですから実に単純なことなのですが、実際に行うのは難しいのです。出来ないことを大きな声で責めてみても何もならないし、かえってやる気をなくし、緊張によって声が出なくなってしまうこともあります。要は目的を達成できないのは100%教える側の責任であることを自覚し、時間をかけて粘り強く楽しく教える、一緒になって楽しい練習を心がける、これがポイントだと思っています。

感受性の豊かな子供達と接することが出来る、その成長を目の当たりにして喜びを共有出来る。こんな幸せを与えてくれるのが子供達なのですから、そのために精一杯の努力をする必要と責任があるのだと思います。笑いに満ちて、しかも素晴らしいハーモニーが出来上がっていく練習。これを目指して今は「怒らず 怒鳴らず 叱らず」と心に決め、練習に励んでいます。(第2回に続く)



金沢少年少女合唱団とともに

第21回 関東おとうさんコーラス大会 in かながわ

2010年8月7日(土)、「第21回関東おとうさんコーラス大会 in かながわ」が、関東支部主催、神奈川県連主管により、横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホールで開催されました。

本大会は文字通り男声合唱の祭典で、第1回目は1990年8月に埼玉県で開催されました。第1回目～第4回目は埼玉県連主催でしたが、第5回目から関東支部主催となり、現在に至っています。また、2008年の第19回大会から関東支部内の各県持ち回りで主管することになり、今回は神奈川県が主管しました。

今年の参加団体は、関東支部の各県から、茨城3、群馬2、埼玉4、静岡3、千葉3、栃木1、新潟3、山梨4、神奈川7の計30団体、約470名が集いました。

会場の大さん橋ホールは、横浜港の中心にあり、景観の素晴らしいホールです。

第Ⅰ部の開会に当たり、梅山登関東支部長の挨拶から始まり、続いて開催県として神奈川県連の田中登志生理事長が歓迎の辞を述べましたが、その時、ステージ後方の幕が左右に開かれました。何とステージ正面に横浜港が一望できる大パノラマが出現し、会場からは、「おーっ!」、「うわーっ!」といった歓声／どよめきが上がり、会場の環境のすばらしさが実感できました。

第Ⅰ部の各団の演奏は、男声合唱の定番曲(特に多田武彦作品が延べ13曲)が多い中、最近の歌に取り組む団もあり、全体として男声合唱の重厚で力強い響きがホールを満たしました。同行された女性陣の盛大な応援も華やかでした。

第Ⅰ部終了後はお待ちかね第Ⅱ部の懇親会です。

参加合唱団の皆様のご協力をいただき、同じホール内を演奏会スタイルから懇親会スタイルに模様替えしました。会場を移動することなく実施できるのは、大さん橋ホールならではのことで。

第Ⅱ部の懇親会は、埼玉県連の新祖章副理事長の乾杯の音頭により開始しました。

ちょうどこの日に、栈橋に着岸した「につぼん丸」の汽笛の響きも伝わってきて雰囲気が大いに高まりました。男声合唱の定番曲「ふるさと」「秋のピエロ」「いざ起て戦人よ」「最上川舟唄」「柳河」「見上げてごらん夜の星を」を、複数の希望団体が合同で次々に歌う中、応援に来られていた女性陣に飛び入りで女声合唱を披露していただき、会場はなごやかなムードに包まれました。



神奈川県連スタッフ一同



田中理事長と会場からの大パノラマ



第Ⅱ部 合同合唱コーナーの様子

合唱の締めは、大会会長である梅山登関東支部長の指揮のもと、懇親会参加者全員での『大地讃頌』の大合唱で盛り上がり最高潮に達しました。

閉会に当たり、次期開催県である茨城県連の遠峰駿一郎理事長から来年の大会へのお誘いのご挨拶があり、関東支部の粕谷宏美副支部長のご挨拶でお開きといたしました。

神奈川県では初めての開催でしたが、本大会にご尽力いただきました皆様の信頼感に基づいた連携で、滞りなく盛会裡に終えることができました。深く御礼申し上げます。

(大会実行委員(運営統括): 岩渕 正観)

平成22年度 一般向け合唱講習会開催 ～木下牧子先生をお招きして～

いよいよ夏真っ盛りといった日差しの中、7月25日西公会堂にて合唱講習会が開催されました。厳しい暑さの中、会場には233名もの受講者が集まりました。私が講習会の実行委員長をやらせて



講師の木下牧子先生

頂くようになって今年で5回目、06～07年は声楽家の三林輝夫先生によるフランス語講座、08～09年には指揮者の金川明裕先生をお迎えして『メサイア講座』、共に受講者全員参加の大合唱方式で、何百人集まっただの大合唱は迫力満点！先生方の素晴らしいレッスンによってどんどんレベルが上がっていく様は、ただただ感激でした。

さて、今年の講習会は私にとって初めての『作曲家の先生』をお迎えしての企画。講師はあの木下牧子先生！大好きな作曲家にお会いできる喜びの反面、講習曲・モデル合唱団の選定等、プレッシャーを感じました…。



Trinityの皆さんによる演奏

今回取り上げた講習曲は、女声・混声・男声問わず幅広く取り組まれている『アカペラ・コーラスセレクション』から5曲を取り上げ、モデル合唱団には、国内外のコンクールにて受賞歴のある、Trinity(女声／茅ヶ崎／指揮：平井保)、コール・キリエ(混声／川崎／指揮：廣石雄司)の皆さんがお引き受け下さり、両合唱団共に素晴らしいアンサンブルを聞かせて下さいました。木下先生ご自身も『上手なので、言うことがありません』とのコメント。先生の要求は言葉の持つスピード感、繊細さや力強さ、しかも正確なアンサン

ブル。木下先生の作品のイメージは『大体30歳ぐらいの良く歌えるメンバーが30人ぐらいで歌うイメージで作っています』との事。作品から感じる私の木下先生は、ちょっとクールなイメージがありましたが、実際は



廣石さんと木下先生による巧妙なトーク

とても気さくで、時折見せる『ひょうきん』な一面がとてもチャーミング。実際講習も指揮者の先生とのトークショーのように展開され、『笑いの中に知識あり』的アプローチでたくさんお話していただきました。

ためになる事だけでなく、木下先生は色々見せてくださいました。指揮者の先生が、木下先生をじっと見つめてお話を聞いていると、『ちょっと、そんなにガン見(がみ)しないで下さい』と現代用語で照れてみたり、アーティキュレーションの質問に対し『自分の曲



会場の皆さんも一緒に

は作ってほしい3年で忘れますから、わかりません』等言ってしまったたり、おもわず『牧子の部屋』と題してしまいたくなるくらい、先生の意外すぎる『お茶目な一面』を知ることができたことも、受講者にとっては嬉しい時間だったに違いありません。

(実行委員長：杉山範雄)

『スタッフバンク』登録のお願い

神奈川県合唱連盟では、県連の各行事でお手伝いいただくために、2011年度のスタッフバンク登録を推進しています。

近日中に各団体へ申込書を送付しますので、是非ご応募ください。



【おかあさんコーラス全国大会】 神奈川県勢大活躍！ひまわり賞に輝く

長野県長野市の「ホクト文化ホール」にて、8月21日～22日の日程で、第33回全日本おかあさんコーラス全国大会が開催されました。神奈川県からは「ママ・マルベリー」と「フラウエンコア・ヴォンネ」の2団体が出場し、満員の聴衆の前で素晴らしい演奏を披露しました。両団体の結果は上記の通りです。

【ママ・マルベリー代表：藤井千恵さんのコメント】

ママ・マルベリーは指揮者の桑原妙子先生が指導している神奈川県内の3団体(朝日カルチャー横浜女性コーラス、富岡コール、しほみコール)が合同で出演している団体です。今回は79名で参加しました。各団の秋の行事が終わった11月に、翌年のお母さんコーラス大会に向けて楽譜が配られます。各団で練習をして1月下旬から月2回横浜で合同練習をして本番に備えます。

今回は猛暑の中、一人の落伍者も無く長野に行き、桑原先生の選曲と演出の素晴らしさで、全員の気持ちが会場に伝えられたと思います。



神奈川県大会のママ・マルベリー

【フラウエンコア・ヴォンネ代表：後藤公子さんのコメント】

今回は31名で出場しました。毎週金曜日の午後(1時～4時)に練習を積み重ねました。今回はアカペラでがんばりましたが、今ではアカペラが少数派ですね。それにしても全国大会は華やか。特に関西から出場した団体はパフォーマンスが素晴しかったです。私たちも衣装などで色々工夫しましたが、まだまだ及ばなかったです。またいつか全国大会に出場したいですね。



神奈川県大会のフラウエンコア・ヴォンネ

★新連載★



コール・キリエ団長日記 ～親分はつらいよ～

【第1回】 まずは自己紹介など・・・



鈴木 行

カノンが送る
新連載第二弾！
コンクールの親分が
本音トークで迫ります

皆様、この紙面上ではお初にお目に掛ります。新人カノン編集委員の鈴木 行(こう)と申します。県連の事業では舞台の下手袖に居る事が多いので、大体の方は自分の顔はご存じだと思います。新人にも拘らず、この秋号から連載記事を担当する事となりましたので、初回となる今回は簡単な自己紹介をさせて頂く事にします。

私の合唱との出会いは中学校の音楽の授業ですが、ドブプリとハマるきっかけとなったのは、当時バスケットボール部に所属していたながら合唱部の顧問から手伝ってくれと頼まれて出演したNHKコンクールでした。我が中学校は初出場ながら銅賞を受賞、「合唱、面白いじゃん」ってな訳で中学校卒業と同時に今でも所属して団長を務めている『コール・キリエ』に入団、併せて高校では合唱部に入部。ここから、高校の授業以外の殆どの時間を合唱に費やす私の合唱人生がスタートしました。そして、今では理事を務めている神奈川県合唱連盟とのお付き合いも、この時から始まったのです。因みに大学時代は3つの合唱団を掛け持ち、練習日ではない曜日はバイトをし、帰宅時間は毎日22時を回っていました。

それから巡り巡って今から9年前の春、某県連理事から「そろそろ県連に恩返しをしてもいいんじゃない？」と言う悪魔の囁きと言っても過言ではない電話が…。それ以来、今年で5期9年目の理事生活を迎えています。こんな感じの私ですが、次回からもお付き合いの程、宜しくお願い致します。



演奏を披露するコール・キリエ

清泉女学院高校音楽部

セギツイ国際合唱コンクールに出場
総合2位に輝く！



イタリア北部・ゴリツィア市において開催された「セギツイ国際合唱コンクール」において、清泉女学院高校音楽部が総合部門2位を受賞するという快挙を成し遂げました。

今年で49回目となるセギツイ国際合唱コンクールは世界六大合唱コンクールの一つと位置付けられており、世界中の団体から、音源審査を受けた合唱の有力団体が集い、演奏を競います。ことしは17団体が集まりました。



移動風景と外での演奏

清泉女学院は高校生56名のチームで7月15日に現地へ到着。23日までの9日間にわたり現地に滞在し、コンクールに参加しました。またコンクールへの出演の合間に、現地テレビ局の依頼で演奏を行い、現地の教会コンサートに参加するなどコンクールへの出場以外にも多方面で活躍しました。

このコンクールは6つの部門で開催されますが、今回清泉女学院が参加したのは「現代曲部門」「セギツイ新曲部門」「民族音楽とジャズ、ポップ部門」の3つの



コンクールでの演奏風景

部門で、いずれも1位を獲得しました。

グランプリ選では惜しくも2位でしたが、会場からは惜しめない拍手が贈られました。

現地で演奏した曲を一部ご紹介します。

■CATEGORY 1d

1. Ave Maria gratia plena
作曲：Javier Busto
2. 《PSALMUS51 (50)》Miserere mei, Deus
作曲：鈴木輝昭
3. 無伴奏女声合唱による奄美島唄
「うたつむぎ：おとつむぎ」より
一切朝花
作曲：信長貴富

■CATEGORY 11a

1. 同声合唱のための「紀州うた拍子」より
こどもあそびうた
ヤンマ ヤッホー
くすぐり
編曲：石黒 晶
2. 女声合唱のための「日本の民謡 第2集」より
五木の子守唄
編曲：松下 耕
3. 和歌山のわらべうた より
えっさっさ
編曲：松下 耕

顧問の佐藤美紀子先生に現地での様子を伺いました。

＜現地の反応はいかがでしたか？＞

「現代曲部門では、ヨーロッパの宗教曲を1曲演奏するたびに観客の熱気が高まるのを感じました。鈴木輝昭氏委嘱曲の演奏時には『お祈り』を始める方もあり、またヨーロッパの教会音楽には類を見ない複雑な和声に驚かれている様子も感じられ、終了時にはブラボーの大声援をいただきました。」

＜評判になった演奏はありましたか？＞

「浴衣着用、振りをつけた『民族音楽』と、寸劇、ダンス付きの『マンマミーア』には客席は大喜び、清泉のファンになったと、毎日、応援にいらしてくださったイタリア人の家族もいました。」



＜苦勞した部分をお聞かせください＞

「数多くの部門に出場し技術力と表現力をアピールすること、また教会コンサート60分間なども要請されましたので、20曲近くを用意しなくてはならず、練習時間の確保が最大の課題でした。また、子供達向けの浴衣の着付けや立ち居振る舞いの練習、ラテン語をはじめとし、独、仏、英、フィンランド語などの勉強にも時間をとられ、出発までは大忙しでした。」

最後に、清泉女学院ではセギツイ出場記念演奏会を開催予定です。お問合せは清泉女学院まで。

【第24回 清泉女学院音楽部定期演奏会】

(セギツイ出場記念演奏会)

・日時：11月20日(土)13時30分より

・場所：清泉女学院講堂

現代曲部門の現地での演奏の様子をDVDで放映し、民族音楽部門で演奏した曲を披露します。

『かながわの合唱団を訪ねて』

第8回：【ジュニア】ほどがや少年少女合唱団

今日訪問したのは『ほどがや少年少女合唱団』。8月19日～20日の二日間にわたって、川崎市にある市民プラザで合宿をしているということで、猛暑が続く中、勇躍取材に向かいました。

私が到着した時点で全体練習をしていたのが、SMAPの『夜空ノムコウ』。子供の声独特の透明感にあふれた、豊かなフレーズが聞こえてきます。

演奏を聴いていると、一部完成されていない部分もありました。ただ、それが気にならないほど素晴らしく美しい声が、ホールを包み込んでいます。一体なぜこんなにも心地よいのか？その時、私は気が付きました。子供たちの声の魅力というのは、単に声の質だけの問題ではないということ。躊躇なく合唱することができ、技に頼らない子供ならではの『熟成していない』歌に対する姿勢こそ、子供らしさを醸し出す要素なのだ！と思ひ至りました。



合宿に参加した皆さんでハイ、ポーズ

演奏中、気になるところがあると、指揮者の福田美知子先生がわかりやすく指導・解説をしています。「この合唱団は全部楽しい。子供たちの指導も楽しいし、子供たちの声を聞いているだけでも楽しいです。」美しく若々しい声で練習後、私に語りかけていただいた福田先生の幸せそうな微笑みが印象的でした。

この合唱団が結成されたのは1990年。ちょうど今年で20周年を迎えます。この合唱団を結成したきっかけを福田先生に伺うと、「私の地元である保土ヶ谷に、ジュニア合唱団をつくりたかったからよ。」と、なんでもないことのように答えていただきました。もちろん、作ろうと思って簡単に人が集まるわけではありません。福田先生の人徳や組織力がなければ、人は集まらないものです。

この日は合宿ということもあり、全メンバーで合唱練習をしていましたが、普段の練習は土曜日の午後で、ジュニアクラス(幼稚園～小学校3年生まで)とシニアクラス(小学校4年生～高校生)に分かれて練習しています。さすがに10歳未満だと練習に集中できる時間が限られており、通常の合唱譜が読めないなどの制約があるので、分割練習を基本にしています。



福田先生指揮の元、熱心に練習に取り組む

ちなみに高校を卒業すると合唱団からは『卒業』することとなりますが、その後も卒団生で結成している『Blue Leaf』などの団体に加入して活動を継続する人も多いようです。

この合唱団では、2年に一度開催する演奏会でミュージカルにも挑戦します。その台本や振付を考えているのが、舞台構成や振付担当として辣腕を振るっている鈴木弘美先生です。福田先生によると「この合唱団を作る時、一番最初にしたことは鈴木弘美さんに加わっていただいたことでした。弘美さんがいなければ、この合唱団を続けることができなかったでしょう」というくらい重要な位置を占める鈴木先生はジュニアの指導を始め、舞台構成や台本振付などを担当しています。そのノウハウが、現在歌って踊る合唱団という形で、魅力的に華開いています。

これからも神奈川県合唱界を引っ張っていく、素敵な『合唱人の卵』を育ててください。

取材：カノン担当)栗林

～合唱団概要～

- 名称：ほどがや少年少女合唱団
- 代表者：福田美知子
- 指導者：福田美知子、鈴木弘美、橋本麻子
- ★団員募集中です。一緒に歌いませんか？★
- 連絡先：福田
- TEL：045-332-4117
- HP：<http://www2.ocn.ne.jp/~hodogaya/>

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド

2010年10月～

10/24 (日)	女声合唱団 みみずく会 「45周年記念第24回演奏会」 13:30～ 都筑公会堂 入場無料 お問合せ：上山久子 045-932-7109 「メンデルスゾーン二重唱曲集」より3曲・歌の翼に・昭和うたアルバム《服部良一》～歴代指揮者とともに～
11/7 (日)	梶ヶ谷女声コーラス 「第5回 定期演奏会」 14:00～ フィリアホール 入場料：1,000円（全席自由） お問合せ：田中 044-888-8556 Missa Simplex 林檎畑 風のうたった歌 星に願いを 世界の約束 手紙 ほか
11/14 (日)	横浜混声合唱団 「第20回記念 オフオフ合唱コンサート」 14:00～ 横浜市民文化会館 関内ホール 入場料：1,500円（全席自由） お問合せ：金野（こんの）045-752-5915 HP：横浜混声合唱団 検索 コンサート名『オフオフ』の最終回になります。優しさいっぱいのごやかなコンサート。詳細は広告欄参照。
11/16 (火)	神奈川県庁合唱団 「神奈川県庁合唱団第35回サロンコンサート」 19:00～ 横浜市神奈川区民文化センター かなっくホール 入場料：1,000円 お問合せ：上杉明 090-4139-5882 常任指揮者の吉田孝古磨先生編曲の「宇宙戦艦ヤマト」や「空とぶうさぎ」などを演奏します。
11/18 (木)	ヌオーヴァ女声合唱団 「ヌオーヴァ合唱コンサート12」 18:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,500円 お問合せ：久富良枝 045-896-2382 (Tel&Fax) 「世界の名曲セレナーデ」ラインベルガー作曲のミサ曲「金子みすゞ詩の世界」J-ポピュスをお楽しみください
11/20 (土)	清泉女学院音楽部 「第23回定期演奏会」 13:30～ 清泉女学院中学高等学校 講堂（大船駅西口下車、清泉女学院行きバス乗車） 入場無料 お問合せ：清泉女学院 濱田京子 0467-46-3171 セギツイ国際合唱コンクール出場報告演奏会です。鈴木輝昭委嘱作品《PSALMUS》22（21）他。
11/20 (土)	横浜あんさんぶるこすもす／音楽集団エチュード 「横浜あんさんぶるこすもす・音楽集団エチュード JOINT CONCERT」 14:00～ 栄区民文化センター リリス 入場料：1,000円 お問合せ：香山 045-953-9124 原 046-269-9522 日頃から“こすもす”はアカペラを“エチュード”は邦人作品を勉強していますが、初めての合同演奏会を開きます。

横浜混声合唱団 第20回記念 『オフオフ合唱コンサート』

“四季”をうたう～歌（か）・謡（よう）・謳（おう）・唱（しょう）～

作曲家 瀧廉太郎・中田喜直・信長貴富氏で綴る

“四季おりおり”“四季つれづれ”の合唱作品展示会です！

合唱：横浜混声合唱団

指揮：吉田孝古磨

ピアノ：須江太郎・岩谷尚幸

特別出演

漆原直美（ヴァイオリン）

《観どころ・聴きどころ》

♪歴史的にも意義のあるめずらしい作品の紹介

組歌「四季」・幼稚園唱歌（瀧廉太郎）

♪新しい合唱演奏スタイルへの試み（ピアノと合唱のためのソナチエール）

有名なピアノ曲《幻想即興曲（ショパン）・プレリュード（ラマニノフ）》による

独奏と合唱との協奏曲（吉田孝古磨によるオリジナル作詩付き）

♪ドイツの“四季”と日本の唱歌とのソナチエール編曲（信長貴富）

11月14日（日）14：00開演（13：30開場）横浜市民文化会館 関内ホール

《お問合わせ：045-752-5915（こんの）》 チケット：¥1,500

11/21 (日) および 11/23 (火・祝)	せやあじさいコーラス／瀬谷混声合唱団 「悠久のタオ（道）Ⅱ」 11/21(日)15:00～ 11/23(火・祝)14:00～ 新瀬谷公会堂 入場料：1,500 円 お問合せ：佐藤武司 045-363-8865 (Tel&Fax) 瀬谷の民話曲を含む合唱で締めコンサートです。アンサンブルきづき出演。
11/23 (火・祝)	女声合唱団コーラル・ベル 「女声合唱団コーラル・ベル演奏会」 14:00～ 鎌倉芸術館 小ホール 入場料：前売り 1,000 円 当日 1,500 円（全席自由） お問合せ：飯田 045-774-0243 (Tel/Fax) メール: choralbell2010_1123@yahoo.co.jp ホームページ: http://music.geocities.jp/choralbell2010_1123 名曲を“スキヤット”で、“海は見てきた”“秘密の花”“A Little Jazz Mass”
11/27 (土)	鎌倉市民混声合唱団 「鎌倉市民混声合唱団 第 25 回定期演奏会 with IN PACE」 14:30～ 鎌倉生涯学習センター ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：菅（かん）045-893-4682 (Tel&Fax) 「運命の歌」「4つの四重唱曲」ブームス作曲「初心のうた」信長貴富作曲、杉山範雄指揮、飛松利子ピアノ
11/30 (火)	緑フラウエンコール / 女声合唱団「松」 / 湘南はまゆう 「Vert Pin Plage」 19:00～ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料：2,000 円 お問合せ：緑フラウエンコール 和田 045-902-7372 http://midori-frauen.com/ 女声合唱団「松」細村 0467-44-1569 http://www9.ocn.ne.jp/~shosho/ 湘南はまゆう 鈴木 0467-85-5785 http://www.k4.dion.ne.jp/~s-hamayu/index.html 松村努氏の指導のもとで活動する3つの女声合唱団による初の合同の演奏会（クリスマスソングなど）です。
12/1 (水)	女声合唱団 滄溟 「女声合唱団滄溟 第 8 回演奏会」 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,500 円（全席自由） お問合せ：佐々木恵実（めぐみ）042-770-2384(Tel&Fax) http://sites.google.com/site/soumeichorus/ ざらりと光るダイヤのような日 / 信長貴富、虹とリンゴ / 三善晃、光の方へ / 松本望 等を演奏致します。
12/5 (日)	上大岡混声合唱団 「第 44 回定期演奏会」 14:30～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：事務局 045-780-3736 HP http://www.geocities.jp/kami_kon/ 林光作曲「マザーグース」「うた」他とオーケストラ伴奏でハイドン作曲「テレジアミサ」を演奏いたします。
12/10 (金)	富岡コール 「クリスマスコンサート」 18:30～ 逗子文化プラザ なぎさホール 入場料：1,000 円 お問合せ：宮崎 045-771-8783 クリスマスの歌をハーブ、フルート、バリトン等とのコラボレーションでお楽しみ下さい。 横浜YMCA混声合唱団 「第49回定期演奏会」 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：大人：1,000 円 高校生以下：500 円（全自由席） お問合せ：鈴木新一 045-252-7703 (Tel/Fax) ホームページ http://ycon.hp.infoseek.co.jp 「クリスマス&アベント モテット」集はアカペラで、信長貴富作曲「世界は一冊の本」他を演奏いたします。

Joint Concert ～女声合唱～ 横浜あんさんぶるこすもす&音楽集団エチュード 指揮：湊 晋吾 ピアノ：工藤 智里 2010年11月20日(土) 14:00 開演 (13:30 開場) リリース (栄区民文化センター) 入場料：1,000円 お問合せ：香山045-953-9124 原 046-269-9522 ◆William Byrd 曲 三声のミサ 「Mass For Three Voices」より ◆Javier Busto 曲 Gauaren zergatiaren bila ◆大手拓次 作詩/木下牧子 作曲 女声合唱組曲 「悲しみの枝に咲く夢」より ◆谷川雁 詞/新実徳英 作編曲 女声合唱とピアノのための 「白いうた青いうた」より ◆G.B.Pergolesi 作曲 原 「Stabat Mater」より	Trinity & Chor Muse et Lys ジョイントコンサート ーチャリティーコンサートー 日時：2011年1月23日(日) 14:00開演 指揮：平井 保 会場：横浜みなとみらいホール小ホール 入場料：2500円(全席自由) お問い合わせ：北出防子 045-471-6430
--	--

12/18 (土)	クール・コメール / アンサンブル・プラムベリー 「茅ヶ崎 3 姉妹合唱団による『トライアングル・コンサート』」 14:00 ～ 茅ヶ崎市民文化会館・大ホール 入場料：1,000 円（自由定員制） お問合せ：沖浦 0467-54-7136 高根 0467-57-2860 吉田孝古磨先生指導の茅ヶ崎 3 団体（コメール / プラムベリー / 梅の実マミー・コール）初のジョイント・コンサート。
12/19 (日)	檜の実コーラス 「第 13 回 定期演奏会」 14:00 ～ 神奈川県立音楽堂 入場料：1,000 円（全席自由） お問合せ：福島 045-701-0213 (Tel&Fax) 下重 045-785-2726 (Tel&Fax) 豊かな感性をもって指導して下さる先生のもと、美しいハーモニーをめざし色々な曲に挑戦しています。
12/25 (土)	横浜オラトリオ協会合唱団 「横浜オラトリオ協会合唱団・第 7 4 回定期演奏会」 13:30 ～ 茅ヶ崎市民文化会館・大ホール 入場料：1,500 円（全自由席・当日売り有り） お問合せ：山田政之 080-1012-6183 合唱団ホームページ http://www.geocities.jp/yokohama_oratorio/ 星野聡先生を新しい指揮者に迎え、初めての定演。モーツァルト「レクイエム」、ラッター聖歌集を演奏。
12/26 (日)	ラ・マリアブランカ 「10 周年記念コンサート」 17:30 ～ 都筑公会堂 入場料：1,800 円（全席自由） お問合せ：佐々木 050-3527-8641 (Tel) ホームページ http://la-maria-blanca.doorblog.jp/ J ポップからミュージカルナンバーまで、エンターテインメント性あふれるショー・コーラスです。乞うご期待！
1/10 (月)	鵠沼エコー 「第 9 回定期演奏会」 14:00 ～ 鎌倉芸術館小ホール 入場無料 お問合せ：橋口 0466-34-5420 ジブリ ジャズミサ 混声・唱歌の四季等楽しさいっぱいのステージです。是非お出かけ下さい。指揮：小濱明
1/23 (土)	湘南レグルスエコー（賛助出演 Sing Bird）「湘南レグルスエコー 3rd concert」 14:00 ～ 茅ヶ崎市民文化会館・小ホール 入場料：1,000 円（全席自由） お問合せ：蒲山 0467-82-4467 (Tel&Fax) 同じ浅野先生指導の東京の合唱団 Sing Bird との合同演奏、大田桜子作曲の「母の手」他

横浜交響楽団第 626 回定期演奏会

2010 年 10 月 31 日（日）神奈川県立音楽堂 14:00 開演

横響合唱団創立 40 周年

ベートーヴェン／ミサ・ソレムニス

指揮 甲 賀 一 宏

独唱 ソプラノ 朴 瑛 実 アルト 布施 奈緒子
テノール 君 島 広 昭 バス 井 口 達

合唱 横響合唱団

入場料 1,000 円（全席自由）

主催 横浜交響楽団 共催 横浜市民局

お問合せ 045-824-3176（横浜交響楽団事務局）
045-711-6759 中峰（横響合唱団運営委員長）

～新理事紹介～		
	氏名	中田 冷子（なかだ れいこ）
	所属合唱団	藤沢女声合唱団（婦人部門）
	パート	ソプラノ
	趣味・特技	コーラス
	抱負を一言	新しい出会いを大切に楽しくお手伝い出来たら良いです
	氏名	大江 洋子（おおえ ようこ）
	所属合唱団	クール・ヴァロア（婦人部門）
	パート	ソプラノ
	趣味・特技	コーラス一筋に生きています。ガーデニングが第二の趣味です
	抱負を一言	県連での経験がヴァロアで生かされればと思っています
	氏名	松井 静江（まつい しずえ）
	所属合唱団	ヌオーヴァ女声合唱団（婦人部門）
	パート	ソプラノ
	趣味・特技	合唱・今リコーダーに凝っております
	抱負を一言	なにもできなくてお役に立てませんが、出来るだけ頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

- 1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel / Fax / e-mail / HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。
- 2 有料掲載：1/8\$~2,500円(1/4\$~5,000円、1/2\$~10,000円、1\$~20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書き可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：夏号 7月10日発行予定(〆切：5月10日) 秋号 10月10日発行予定(〆切：8月10日) 冬号 1月10日発行予定(〆切：11月10日) 春号 4月10日発行予定(〆切：2月10日)

＜取材希望団体募集＞「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

＜編集後記＞今回もバタバタの編集となりましたが、編集局皆さんの力を合わせてなんとか形になりました。また今回から新企画としてコラムを2本、掲載しました。是非反響などをお寄せください。(編集長：K)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐・毎週月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

ホームページ URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

